

令和3年度の重点課題

○情緒面での課題

5年生

・運動やスポーツをすることはすることに肯定的ではない児童の割合が8%である。

○体力面での課題

5年生

・男女ともに6種目が県平均かつ全国平均値より低い。この結果は、コロナ禍における運動不足も要因であると考えられる。
 ・昨年度まで本校で取り組んだ「走の運動」で前年度と比較すると「20mシャトルラン」は、平均値が6.77回低く、「50m走」は、平均値が0.21秒遅くなっている。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

・体育の授業において、準備運動の中に、「走の運動（遊び）」を全学年で取り組むことで、走ることに慣れ親しんだ。

・音楽に合わせて、マラソン朝会を実施することで、全児童が楽しくスポーツに触れる機会を確保することができた。

・陸上運動で扱うドリルメニューを職員間で共有するため、実践的な研修を計画し、実施することができた。

・「走」の力を伸ばすために、「走り方教室」を行い、意識を高めた。

令和4年度新体力テストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.15	17.89	33.36	43.48	54.22	9.47	138.81	25.37	53.12	第5学年	18.54	19.13	37.83	42.04	43.88	9.55	135.54	17.38	56.74

県平均値かつ全国平均値未満

令和4年度新体力テストの結果(県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.15	17.89	33.36	43.48	54.22	9.47	138.81	25.37	53.12	第5学年	18.54	19.13	37.83	42.04	43.88	9.55	135.54	17.38	56.74

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	66.67	25.93	0.00	7.41	第5学年	75.00	16.67	4.17	4.17

学校独自の意識調査

5年生「体を動かすことが好きですか」
 ・好きな児童 72.5% ・やや好きな児童 21.5% ・やや嫌いな児童 1.96% ・嫌いな児童 5.8%
 5年生「体育の授業は好きですか」
 ・好きな児童 66.6% ・やや好きな児童 29.5% ・やや嫌いな児童 7.8% ・嫌いな児童 0%
 ○児童の傾向
 ・体を動かすことが好きな児童が多数いる。また、体育の授業を好きな児童が多数いる。

重点課題

情意面での課題

・運動やスポーツをすることに肯定的でない児童の割合が7%である。
 ・体育の授業を肯定的でない児童の割合が7%である。

体力面での課題

・男女ともに4種目が県平均かつ全国平均値より低い。昨年度まで本校で取り組んだ「上体起こし」を前年度と比較すると男子の平均値が、2.19%低い。また、「立ち幅跳び」は、男子が7.9%低く、女子が10.24%低い。男女共に、筋肉を使う力が低い。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○運動量を増やし、運動機能を高めながら、体力向上につなげる。児童の中で、体の動きを交流したり、フィードバックしながら、技能を高めることができるようにする。
 ○運動が苦手な児童や運動に意欲的でない児童への指導について事前に学年間で計画する。声かけなどの手立てを計画・実践することで、意欲向上につなげる。
 ○朝会や授業開始5分などに、なわとびをする。音楽をかけて、リズムよく跳ぶことで、楽しく運動をする機会を確保することができるようにする。

体育の授業以外で行う取組内容

○本校で行う「ロング昼休題」の時間に、体育委員会や児童会を中心に、外遊びやなわとび大会、縦割り班あそびなどを計画することで、全児童が楽しくスポーツに触れる機会を確保し、それに向けて、各クラスで目的意識をもって取り組めるようにする。
 ○ICTを使って、定期的にアンケートを行い、児童の実態にそった授業改善を行うことができるようにする。

令和5年度の
重点目標値

○令和3年度に実施した新体力テストの県平均及び全国平均値と、本校の児童の結果を比較・分析した。その結果、重点課題として扱いたい項目が4種目挙げられる。その中で、「上体起こし」と「立ち幅跳び」の2種目においては、学校全体で取り組み、令和5年度の全国平均値以上にする。

○学校独自の意識調査「運動やスポーツをすることは好きですか」の調査内容に対する肯定的評価各学年95%以上にする。